

区民と区長のまちづくり懇談会 会議録 [東部地区]

No.	意見	回答
豊かな人間性をはぐくむ文化の香り高いまち		
1	<p>【夏季の学童保育クラブの活動場所について】</p> <p>子どもが田道小学校内学童保育クラブに通っている。児童館併設ではないため、一つの部屋に60名、夏季は短期入所を含めて70名が1日10時間をともに過ごしている。田道小学校内学童保育クラブは体育館に冷房がなく、猛暑で校庭も暑くて使えなかった。他区では避難所にもなる体育館に冷房をつけることを検討していると聞く。目黒区では今後体育館に冷房を設置する計画があるのか。わが子がいる間に叶わないとしても、ぜひ設置を要望したい。また、それまでの間、週に1回でもよいので、冷房のある公立体育館などを利用できないか。子どもの体力増進のためにも夏季の活動場所の確保は大事だ。学童保育クラブの子どもだけでなく、すべての子どもたちのためにもよろしく願いしたい。</p>	<p>区立の小・中学校で、体育館に冷房が設置されているところはありません。23区でも今夏の猛暑を踏まえて、徐々に体育館の冷房化を進めるという話が出てきています。学校の体育館はおっしゃるとおり、授業はもとより災害時の避難場所としても使います。現在は大型扇風機2台ずつを借り受けて使用していますが、空気をかき混ぜるだけではなかなか涼しくなりません。古い体育館が多く、電源などの課題もあるため、総合的に検討する必要がありますが、今後、冷房設置の検討を進めたいと考えています。</p>
ふれあいと活力のあるまち		
2	<p>【三田分室の桜の木について】</p> <p>田道住区の三田分室に桜の木があるが、今回の台風で倒れてしまった。東部地区サービス事務所で手配して対応してもらっているところだが、昭和58年に植樹した時は細かった桜が、大きな木になったものの、しっかり根が張れていないようだ。分室の裏手にも桜があり、その先は擁壁でがけ崩れの心配もあるので、再度点検してもらいたい。</p>	<p>専門の部局にも協力してもらって対応します。</p> <p>※田道住区センター三田分室裏手の擁壁については、法定点検と巡回による点検を毎年実施しています。引き続き、施設の安全確認に努めていきます。</p>

No.	意見	回答
3	<p>【町会の位置づけについて】 町会の活動を長くやっているが、めいっばいになってきた。勤め人が多くなり担う人が減ってきた。しかし、役所は町会にいろいろな仕事を持ってくる。</p> <p>そんな中で夏休みにラジオ体操を行っている。子どもたちが100人くらい集まるので、よい機会だから防災訓練をやろうということになり、区役所へ起震車を借りる申請を出した。ところが起震車は一定の時間以降でないと貸し出せないという。</p> <p>区役所は、我々にやれということは多いのに、こちらが何かやろうとすると規定通りの回答をする。区の皆さんは町会をどのように思っているのだろうか。</p>	<p>町会・自治会は最大のパートナーであり、区と町会・自治会は車の両輪です。町会・自治会のご協力がなければ、目黒区に限らず、区政は運営ができません。これまで、町会・自治会は自主的な団体であるため、具体的な支援策としては、あまり打ち出していませんでしたが、今般決定した新たな方針（「コミュニティ施策の今後の進め方」平成29年12月）では、改めて町会・自治会を地域コミュニティの基礎と位置づけ、これまで以上に積極的に支援していくこととさせていただきます。この考え方に基づき、できるだけ早期に、皆さんからいただいたご要望にお応えする具体的な支援策のメニューを提示したいと考えています。</p> <p>現在、転入者に加入案内チラシを配布し、協力させていただいていますが、一番の問題は会員が減っていることだと思いますので、引き続き加入促進に繋がる支援策を検討し具体化していきます。</p> <p>起震車については、ご期待に沿えず申し訳ございません。特別な車ですから動かしたり安全を確保したりする人の確保が必要なため、午前9時から午後4時までとしています。土日も貸し出せますので機会がありましたらご活用ください。</p>
4	<p>【斎場について】 目黒区は今では人口が増えているが、少子高齢化が進めば、いずれ人口減少は避けられない。高齢者が増え、亡くなる人も増える。そこで心配なのは斎場や火葬場だ。目黒区の状況や今後の対応を聞きたい。</p>	<p>火葬場は、区内にはありません。斎場は、民間ではこの近くでは桐ヶ谷斎場がありますが、近隣区と共同運営する「臨海斎場」という火葬も行える斎場もあり、区民の方にご利用いただいています。また、区内には小規模ですが「セレモニー目黒」という区民斎場が区民キャンパスの中にございます。</p> <p>なお、今後の需要対応については、臨海斎場において増設を検討しているところです。</p>

No.	意見	回答
ともに支え合い健やかに安心して暮らせるまち		
5	<p>【バリアフリーの街づくりについて】</p> <p>夫は障害があるため、出かけるときは私がいつも車いすを押しているが、道路に電信柱があると、その分車道に車いすがはみ出してしまう。電線の地中化は目黒区ではいつ頃なのか。大変な費用が掛かると思うが基本構想にも、車いすを安心して押せる道路について盛り込んでほしい。</p> <p>また、区民センターの図書館は車いすで専門書のコーナーへ行くことができない。もし今後区民センターを改修することがあったら、災害の発生なども踏まえた上で、子どもからお年寄りまで地域の皆さんが利用できる総合的な施設として考えていただきたい。</p>	<p>電線類の地中化については、整備基本方針を定め、2万7千メートルの区道について予定しています。計画のうち17パーセントを実施しており、現在は東邦大学大橋病院前の道路で行っています。その先の淡島通りへ抜ける道路についても、東京都のチャレンジ制度を活用して行う予定です。整備基本方針は今後改定する予定ですので、お話を踏まえて検討していきます。</p> <p>また、今年度から区民センターについて検討を始めたところです。昭和49年に建設された建物で、バリアフリー化されていません。今年度は課題の整理を進めており、来年度は基本的な方向性を検討していきたいと考えています。なお、図書館については職員にお声がけいただければお手伝いいたします。</p>
6	<p>【住区の子ども部屋について】</p> <p>学童保育クラブを卒所した3～4年生の子どもたちは、親が自宅にいないので、町会の事務所へ宿題をしに来る。10人以上も来て、まるで寺子屋のようになってしまった時もある。住区センターの子ども部屋に宿題ができるような机を設置してもらえないか。</p>	<p>学童保育クラブを終えた、高学年の子どもたちの放課後の居場所が課題となっています。区では放課後子ども総合プランを実施可能な小学校から順次実施していくこととしており、学童保育クラブに通っていないお子さんも含めて放課後に安心して過ごせるように、学校を活用した子どもの居場所について検討しています。平成31年度にモデル事業を2校で始める予定です。今後すべての学区域で実施したいと考えています。</p> <p>住区センターに机を入れることについては、まずは実態を把握させてください</p> <p>※住区センター三田分室の子どもコーナーに机を入れることについては、地域の皆さんの話合いにより、限られたスペースを安全にご利用いただくため、机などは設置しないことになっています。</p>

No.	意見	回答
7	<p>【特養ホームの空き床について】 民生委員の会議の場で、10床以上の空き床が生じている問題について質問したところ、職員が集まらない現状があるということだった。特養ホームへの入居希望が多い中で、区としてこれでよいのか。</p>	<p>区内民間特養ホームにおいて、介護人材の確保が厳しい状況であることは、区としても把握しています。法人に対して、人材計画と採用計画を見直し、適切な人材を確保した上で1日も早く満床となるよう指導しているところです。</p>
8	<p>【学童保育クラブの整備について】 平成37年度をピークに、学童保育利用児は今後600人程度増えると聞いている。就業率を考えると、この先も利用が多い状況は続いていくだろう。 国の新・放課後子ども総合プランでは、学童保育について、全国で30万人分の増設が目標となっている。目黒区ではどのように対応を考えているか。何か新しい取組ができないか。</p>	<p>子どもの数が増えているというのはご指摘のとおりです。特に学童保育クラブの利用者は平成37年度には、これまでの予想を上回る可能性があり、放課後子ども総合プランを進めているところです。できるだけ学校内の学童保育クラブを増やしていく計画ですが、学校ごとの事情もあります。教育委員会とも協議しながら、段階的にですが、学校のあらゆる資源を活用できるように、優先度の高い地域なども考えながら、努力していきたいと考えています。</p>
9	<p>【児童館・学童保育クラブの非常勤職員確保について】 児童館・学童保育クラブの非常勤職員が30名欠員となっている状況が続いていると聞いている。区民センターの工作室を閉鎖する時間が生じるなど、影響が出ている。月給をアップするなどの努力をしても欠員状況が変わらない中で、今後どのような対策を考えているのか。常勤の増員などは考えていないのか。</p>	<p>ご指摘のとおり、公設公営の児童館・学童保育クラブについて、欠員により運営に支障が生じていることは事実です。大変申し訳ございません。 職員募集に当たっては、これまで区報やホームページだけで行ってきたところを就職サイトを利用するなどしています。また、常勤・非常勤の職員構成についても、改めて検討しているところです。運営に支障が生じないよう最大限努力いたします。</p>

No.	意見	回答
10	<p>【特別養護老人ホームと学童保育クラブの職員確保について】</p> <p>先ほど特養ホームの職員が確保できないことについて質問した。児童館・学童保育クラブでも職員の不足が発生しているということだが、それぞれいつ頃からこのような事象が発生しているのか。</p>	<p>公設公営の児童館・学童保育クラブは、3年以上、このような状況が続いています。</p> <p>お話のあった民間特養ホームは数年前からと聞いていますが、具体的に何年とは承知していません。</p>
環境に配慮した安全で快適なまち		
11	<p>【碑文谷公園の植栽について】</p> <p>クリスマスローズが合わない植え方で植えられている。区がやることなので、基本的なガーデニングの知識をもってやっていただきたい。植えたところに比べ半減している。税金の無駄使いである。</p> <p>また、区役所の屋上庭園に行ったとき、松が先の方を切られて植木鉢に入れられていた。ありえないと思う。</p>	<p>公園の植栽については一定の植栽計画に基づいて行っていますが、ご指摘のクリスマスローズについては現地を確認して対応します。</p> <p>なお、区役所の屋上庭園は大学と協定を結んで、ある程度の専門性をもって行っているものです。五葉松は大学の先生の思いのこもったものと聞いていますので、ご理解くださるようお願いいたします。</p> <p>※今年は猛暑の影響もあり、クリスマスローズに限らず様々な植物が、葉を枯らすなどのダメージを受けました。碑文谷公園のクリスマスローズについて10月に現地確認をしたところ、株元から新しい葉を出して回復している状況でした。</p> <p>ご指摘のクリスマスローズは、花壇管理をしていただいているボランティア団体に配布したのですが、植物の特性などについては配付時のお知らせや研修会の機会を通じて更に普及を図っていきます。</p>

No.	意見	回答
12	<p>【ごみの集積所について】 自宅前に集積所があり、長年その片づけをしてきた。 近隣の集合住宅は集積所を設けていないため、その住人たちは、周囲の集積所に好きな時に好きなようにごみを捨てていく。集合住宅のオーナーは敷地内に集積所を設け、きちんと管理するように条例を作ってほしい。</p>	<p>区内には2万か所近い集積所があり、集合住宅敷地内の集積所もありますが、オーナーの方による指導はなかなかできていない状況です。 ごみの分別については、区としても様々な形でPRしていますが徹底できていません。条例化のお話をいただきましたが、実態を調査した上でどんな対応ができるのか検討していきます。</p>
13	<p>【地球温暖化防止について】 災害は地球温暖化が原因とも言われている。区民として何とかしたいが1人や2人でなんとかできるものではなく、多くの方に意識を持っていただきたいと思う。 先日他区の焼却炉を見学したところ、プラごみとその他のごみを分けずに燃やしていた。効率を考えた結果だとは思いますが、目黒でも清掃工場が新しくなると分別しなくなってしまうのではないかと心配している。二酸化炭素をできるだけ減らすことは、今の大人たちの責任だと思う。意識改革が必要ではないだろうか。</p>	<p>目黒区としても毎年ごみを減らすように工夫しています。本区の場合、転入者が多いため（一昨年と昨年を比べ約3000人の増）、全体のごみの量では減っていない状況ですが、1人当たりのごみは減っています。皆さんの意識の高さに感謝しているところです。 めぐろ区報10月5日号に「2R（ツーアール）でごみ減量」の記事を掲載しました。今後は、台所ごみの水分量を減らすなど、ごみの発生自体を抑える取組にも力を入れていきたいと考えています。</p>
14	<p>【災害時の給水について】 最近災害が多いが、目黒区には災害時に利用できる水場はあるのか。すべて給水車に頼らなければならないのか。</p>	<p>災害時の飲料水は、地域避難所に設置されている受水槽及び応急給水栓からの水道水と備蓄しているペットボトルの飲料水を利用します。また、東京都水道局において、都立林試の森公園応急給水槽と八雲給水所からも水道水を給水することができます。なお、生活用水は地域避難所に設置している井戸やプールの水を活用することとなります。</p>

No.	意見	回答
15	<p>【歩きスマホについて】 権之助坂などの人通りを見ていると、歩きたばこはずいぶん少なくなったが、一方で、若い人などの歩きスマホが非常に多くなり、ぶつかりそうになる。今後区として「歩きたばこ禁止」のように「歩きスマホ禁止」を路上にステッカーを張るなどの対応はできるのだろうか。</p>	<p>警察による規制は難しいかもしれませんが、権之助坂は商店街まちづくりルールなどの取組もあります。そういったルール作りの中で対応できるのか、また、駅のホームなどでは「歩きスマホ禁止」を周知していますので、安全・安心の観点からこういったことができるのか、ご意見を受け止めていきたいと思えます。</p>
16	<p>【目黒川の悪臭について】 今年の桜の季節の前に目黒川の浚渫（しゅんせつ）をしたようだが、まだ悪臭がする。今後の悪臭対策は考えているのか。</p>	<p>普段は落合水再生センターからの高度処理水を流していますが、大雨になると、下水道管からあふれた汚水が川に流れ込んできます。特に太鼓橋のあたりは川底が下がっており、潮の満ち引きもあって、ヘドロが溜まりやすく硫化水素が発生している状況です。東京都にはこれまでも何回も要望を出しており、今年大規模な浚渫工事の実施となりました。</p> <p>また、平成28年度からは水質浄化実験を行い、平成30年2月に河川管理者である東京都の担当部局のほか、品川区、世田谷区、目黒区からなる水質浄化対策評価委員会を設置しました。年度内にまとめをして、東京都の財政部局にも要望していく予定です。これまでの実験では、費用は掛かりますが高濃度酸素溶解水が効果があるのではと考えています。そのほかにも様々な検討をしています。河川ですから時間がかかるとは思いますが、対策は講じていきます。</p>
17	<p>【羽田空港新ルートについて】 羽田空港の新たな発着ルートについて、今までも説明会などで話を聞いていたが、先日の報道で、横田基地の上空は日本側の管制が及ばないため、検討しているルートが使えないと聞いた。新ルートの見込みについて、分かったら教えてほしい。</p>	<p>この件に関しては、区としても報道で承知したところです。国からは今後も米国と交渉を続けると聞いています。今後お伝えできることがありましたら、区民の皆さんにお知らせします。</p>

No.	意見	回答
18	<p>【羽田空港新ルートについて（関連）】</p> <p>目黒区としては、目黒区上空を航空機が飛行することは、やむを得ないという考えか。</p>	<p>目黒区も含め23区全体として、羽田空港の強化は課題として捉えており「やむを得ない」という考えです。</p> <p>一方で、落下物や騒音の問題については、国にしっかりと話をしなければならないと考えています。</p>
19	<p>【道路について】</p> <p>区は道路をできるだけまっすぐにしたと聞いた。今後セットバックなどで私有地は削られていくのか。</p>	<p>道路は昔からの形状があります。線形が決められている都市計画道路などを除き、形状をまっすぐにするということはありません。お話は、狭い道路の整備ではないかと思えます。法律上は幅員4メートル以上のものを「道路」としてはいますが、それに満たないものも多く、建築基準法の「42条2項道路」と言って、道路の中心線から2メートル下がって、幅員4メートルを確保する場合があります。条例で、建替えの際にはセットバックについて協議することになっていますが、道路の形状に合わせますので、下がるときに必ずまっすぐにしなければならないということはありません。</p>